

高田正哉ゼミナール 研究室紹介

～各プロジェクト紹介～

1. 子どもとお菓子を作るう メンバー：山田葉奈、山内梨湖

内容：子どもたちと一緒にパフェ作りを行う

- ・子どもたち同士が関わり合える活動をする。
- ・参加している子どもたちがお菓子作りを楽しむ。
- ・担当者と子どもたちがコミュニケーションをとりながら、完成させる。

場所：會津稽古堂

対象者：地域の子どもたち（年齢制限なし） 作：山内



2. GIGAスクール構想研究プロジェクト メンバー：岩澤鼓太郎、須藤順子

内容：「GIGAスクール構想」とは、文部科学省によって行われている子ども一人一人にICT機器を整備する取り組みである。「生徒や教職員、保護者はこの取り組みについてどう思っているのか」「GIGAスクール構想が及ぼす子どもたちへの影響はどのようなものか」などの疑問を、主にフィールドワークを通して考察、解明し、GIGAスクール構想を知らない方々に向けたパンフレットを作成する予定である。

FW： 西会津小学校、三春小学校



3. コミュニティーカフェ企画プロジェクト

メンバー：石川史織、小林由季、八代映津生

内容：・コミュニティーカフェについて事例・検討

「コミュニティーカフェ」とは、市民が自発的・主体的に、カフェ的な場や空間・機能を活用して、「事業」として、居心地の良い場を共有すること。さらには自分たちの暮らすまちや地域に関わる機会も持ち合わせている場である。つまり、行政が設置して運営を委託したり、企業が全国展開するようなものではなく、地域で暮らす人たちが運営すること。そして、持続可能な運営を自立して行うことが求められている。コミュニティーカフェは、美味しいスイーツやドリンクの提供を通じて利益を上げることが目的ではない。居心地のいい空間を楽しめたり、交流の機会や地域活動に巡り会えたり、様々な出会いや発見の機能を、「カフェ的な空間」を活用して発揮する取り組みである。

- ・紅翔祭にてコミュニティーカフェの開催の企画・運営
- ・コミュニティーカフェについてのアンケート調査
- ・コミュニティーカフェの見学 EMANON



4. 学生会議企画プロジェクト メンバー：小林里央、宇内華、小林由季

内容：高校生、大学生から学校生活の悩み、不満を聞き、そこから学生会議を企画、運営を行い、高校生、大学生の交流の場を提供する

会津若松市には8の高校と大学と短大がある。しかし、高校と大学の交流の機会がほぼないのが現状である。2月に新潟県立阿賀黎明高等学校の生徒たちと行ったオンライン進路相談を通して高校生と大学生の交流できる場を作りたいと思い、この企画を考えた。さらに、5月にはいわき市にある「いとち」に訪問し、小松理度さんからお話を伺い、ワークショップの企画の仕方、こだわっているところなどを教えていただき、自分たちの企画作成の相談もさせていただいた。今後は12月にワークショップを企画し、開催する予定である。

対象：高校生、大学生